とっとり文学探訪マップ

小泉八雲「日本海の民俗発見」ルート

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が日本の民俗に感動しながら通った道をたどり、日本海沿岸の絶景と独特の文化を堪能してください。

新編 日本の面影(角川ソフィア文庫)
ラフカディオ・ハーン/著 池田 雅之/訳

古き良き日本の景色、人々の暮らしをハーンの視点で鮮やかに表現。行く先々で見聞きした民俗の細かい描写も読み応えがあります。

登場スポット 上市(現在の大山町下市)、花見潟墓地、浜村温泉

《司馬遼太郎》山の寺、海の社で古事を思う 大山～美保神社コース

《司馬遼太郎》神話と戦国の世界を散策 白兎海岸～倭文神社コース

《司馬遼太郎》山から海へ、原風景をたどる 智頭・早野～鳥取砂丘コース

島崎藤村「鳥取の名湯めぐり」ルート

島崎藤村が訪れた鳥取の温泉地には、投宿した旅館が今も残っています。周辺の観光スポットと合わせ、名湯めぐりを楽しんでみませんか。

山陰土産その他(改造社)
島崎 藤村/著

藤村が次男・鶏二と二人で出かけた、気ままな山陰旅日記。昭和初期の風景、人々ののどかな暮らしぶりの描写は旅情を誘います。

登場スポット 岩井温泉、明石屋(宿)、浦富海岸、小銭屋(宿)、三朝川、岩崎(宿)など

司馬遼太郎「因幡&伯耆の歴史探訪」ルート

『街道をゆく』に登場する因幡・伯耆の旅路を3つのコースに分けました。この地の素朴な自然と深い歴史文化を文豪気分で旅してみませんか。

街道をゆく27(朝日新聞出版)
因幡・伯耆のみち、耀原街道
司馬 遼太郎/著

作家・司馬遼太郎が実際に歩き思索した大紀行文学。鳥取県の豊かな自然と息づく歴史文化を丁寧に掘り起こした著述に引き込まれます。

登場スポット 早野、因幡国庁跡、鳥取砂丘、白兎海岸、鹿野城跡、夏泊港、倭文神社、三徳山三佛寺、倉吉市、大山、美保関灯台、美保神社

因幡伯書図 開運八社巡り

縁起のよい名前の神社8社+その年の干支にちなんだ神社を参拝、「開運手ぬぐい(500円)」に朱印を集めて開運祈願してみませんか。旅の思い出におすすめ!

TEL 0857-39-2111(鳥取県観光連盟)

凡例

高速道路(無料)
高速道路(有料)
9 国道
県道・その他道路
鉄道(JR/私鉄)
県境
市町村境
山陰ジオパークエリア
道の駅
PA パーキングエリア
SA サービスエリア
山
温泉
文化財
石碑

※ 島崎藤村、司馬遼太郎、小泉八雲の各ルートは観光コースとしての設定であり、必ずしも著作者らが通った道筋どおりではありません。

0km 5km 10km

米子市 思想の詩人・生田春月の影を探して

大山・桝水高原 文学の着想をもたらす霊山のパワーを感じて

琴浦町 文人・芸術家の足跡をたどって旧街道を歩く

三朝町 文豪たちの心と体を癒した名湯

鳥取市 漂泊の俳人尾崎放哉の故郷をめぐる

※鳥取市内にはこの他にもたくさんの放哉句碑が建立されています。

赤朽葉家の伝説
桜庭 一樹/著(創元推理文庫)
製鉄業を営む名家の女三代記。鳥取県出身の直木賞作家が故郷をモデルにした架空の村を舞台に描く独特の世界観に引き込まれます。
■登場スポット
鳥取県西部、紅緑村(架空の村)

暗夜行路
志賀 直哉/著(新潮文庫)
志賀直哉の目叙的長編小説。苦悩を背負った主人公・時任謙作の心を癒したのは「大山」の雄大な自然。その情景描写が読みどころ。
■登場スポット
大山

絶唱
大江 賢次/著(河出書房新社)
大地主の息子と山番の娘の純愛を描いた、伯耆町出身の作家・大江賢次の代表作。戦中の時代背景も絡んだ悲恋に涙が止まりません。
■登場スポット
大山

どがでもバンドやらいでか!
丁田 政二郎/著(ポプラ社)
80年代の倉吉、高2男子・宮田がバンド結成のためがむしゃらに走り回る青春ストーリー。いきいきとした方言のセリフも魅力。
■登場スポット
白壁土蔵群、玉川、打吹公園

怪談の道
内田 康夫/著(角川文庫)
浅見光彦シリーズのミステリー小説。鳥取県中部を舞台に起こった殺人事件と、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)との関わりに注目。
■登場スポット
白壁土蔵群、打吹山、東郷温泉、倭文神社、羽衣石山、三明温泉、人形峠

日本温泉めぐり
田山 花袋/著(角川春樹事務所)
自然主義派の小説家・田山花袋が約100年前の温泉旅を綴った紀行文。訪れた東郷温泉の眺望、食材の豊かさなどを賛辞しています。
■登場スポット
東郷温泉

鳥取雛送り殺人事件
内田 康夫/著(光文社)
浅見光彦事件簿47作目。殺人現場の遺留品は、用瀬町に残る風習・流しびなの桃俠と若桜三倉石。真相を追って光彦が鳥取を奔走!
■登場スポット
流しびなの館、若桜町歴史民俗資料館(若桜郷土文化の里)

なぜかいい町一泊旅行
池内 紀/著(光文社)
16の小さな町を訪れたひとり旅のエッセイ。その心に留まった岩美町の旅では、尾崎翠の作品を交えながら町の情景を伝えています。
■登場スポット
浦富海岸、岩井温泉、花屋旅館(宿)、荒砂神社